

# 苦 情 受 付 書

(苦情受付担当者)

受付日	令和6年12月3日	苦情の発生時期	6年11月29日	受付No.	18
記入者	齋藤貴子		苦情の発生場所	浜北西保育園	
申出人	氏名(フリガナ)	不明	住所	不明  TEL	
	利用者との関係	不明			
☆申出人が本人以外の場合は利用者の氏名、年齢、性別、連絡先を記入(備考欄)					
苦情の内容	相談の分類	① ケアの内容に関わる事項 ② 個人の嗜好・選択に関わる事項 ③ 財産・遺言 ④ 制度、施策、法律に関わる要望			
	<p>・「創部の消毒」に関しての懸念                  転んで怪我をすると消毒をしているが、「湿潤環境で治すもの」とされ流水洗浄したあとワセリン等で保護し湿潤環境を保つというのが常識。                  「子どものために行っている消毒」は「子どもの傷口に塩を塗る行為」。このような意図がないのは承知しているが、現実的にはこれが事実。                  (別紙参照、添付資料あり)</p>				
申出人の希望等	「創部処置」に関して見直して欲しい				
備考					
申出人の要望	・話を聞いて欲しい ・教えて欲しい ・回答が欲しい ・調査して欲しい ・改めて欲しい ・その他 [ ]				
申出人への確認	第三者委員への報告の要否 要 ・ <input checked="" type="radio"/> 否 確認 [ ]				
	話し合いへの第三者委員の助言、立会いの要否 要 ・ <input checked="" type="radio"/> 否 確認 [ ]				



2024年11月29日

社会福祉法人 全人会 理事長 平山秀司 様  
浜北西保育園 園長 稲垣 香織 様

大変お世話になっております。

いつも子供たちを優しく見守って下さり、ありがとうございます。

子供も保護者も安心して預けることができる園だと思っておりますし、  
保育全般に関してとても満足度の高い園だと思っております。  
改めて感謝申し上げます。

かねてから「創部の消毒」に関して懸念していることがあり投書させて頂きました。

従来、“傷は消毒して乾燥させて治すもの”という概念が一般的でした。学校でも病院でも、転んでけがをした時は消毒してカサブタを作るべき、だと信じられていました。

しかし、ここ10-20年は、既に「傷は湿潤環境で治すもの」というのが常識です。  
さらに創部への消毒は、創の治癒を遅延させる、というエビデンスがあります。

様々な学会や病院において、創部の正しい処置を、以下のように指導しております。

- 1) 創部は消毒しない。流水（水道水）で十分に洗い流す。  
※泥などで汚染されている場合も同様です。場合によっては泡立てた石鹸を使用することも考慮します。  
破傷風ワクチンも、小児は定期接種しているため追加投与は不要です。
- 2) 流水洗浄後の創部は乾燥させないことが望ましい。清潔なワセリン等で保護する。
- 3) 絆創膏は貼付してもよいが、毎日交換する。創部は入浴時に毎日流水洗浄する。

病院や専門家によって若干の違いはありますが、少なくとも、

- ・創部は消毒せず流水洗浄する
- ・創部はワセリン等で保護し、湿潤環境を保つ

というのは既に常識となっています。

極端に言えば、「子供のために行っている消毒」は、「子供の創口に塩を塗る行為」です。  
勿論このような意図がないのは承知していますが、現実的にはこれが事実かと思えます。

お忙しい所恐縮ですが、保育現場で頻度が高い「創部処置」に関して見直して頂けると幸いです。  
今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

添付資料1：日本皮膚科学会ガイドライン—創傷一般（2011）

添付資料2：第28回日本創傷・オストミー・失禁管理学会—創傷は原則消毒しない（2019）

以上

あすなろの声 回答

いつも保育園運営にご理解ご協力いただきありがとうございます。

傷口への消毒についてのご意見を頂きました。資料も添付していただきましたので参考のため掲示いたします。

法人との協議の結果、今後の処置は流水にて傷口を洗い流すのみとなります。  
傷口の状況によっては病院での受診をお家の方をお願いすることとなりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

浜北西保育園